

学術フォーラム

自動車の自動運転の推進と社会的課題について

—移動の本能と新しい社会のデザイン—

高次脳機能障害と運転

1. 高次脳機能とその障害
2. 高次脳機能障害の回復とその限界
3. 高次脳機能障害と運転支援

高次脳機能障害からの回復

1) 本来の脳機能の修復



不十分な場合

2) 脳の可塑性に基づく脳機能再構築



不十分な場合

3) 幹細胞移植による神経再生



不十分な場合

4) ブレイン・マシン・インターフェース (BMI)

→ 運転支援への応用に期待

自動車の自動運転の推進と社会的課題について

高次脳機能障害と運転

高次脳機能障害からの回復

→ 運転支援の高次脳機能障害への応用に期待

- 社会復帰する際に、自ら自動車を運転することを迫られることが少ない
- 特に地方においては、公共交通機関の普及が十分でなく、自動車が唯一の移動手段である地域も多い
- 人間が介入しない自動運転は困難
- 機能しない部分・機能の回復が不十分な部分を支援・代替して自分で運転する運転支援に期待

自動車の自動運転の推進と社会的課題について

高次脳機能障害と運転

高次脳機能障害と運転支援

→ 課題・問題が山積

- どのように高次脳機能障害者の意志を上手く反映させるか？
- どうしたら残存した脳機能障害を円滑に効率的に支援・代替できるか？
- どのようにすれば脳機能障害者に運転できる喜びを享受し、前向きに人生を送れるようになるか？

→ 性急で、過度の期待は禁物

学術フォーラム

自動車の自動運転の推進と社会的課題について

—移動の本能と新しい社会のデザイン—

高次脳機能障害と運転

